

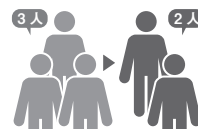
施工業者様用

〈施工説明書〉

LVL 野縁システム

天井野縁システム

「天井野縁システム」は、プレカット済み！ 抜群の精度と施工性を発揮。
野縁受けは 455 mm または 303 mm ピッチの欠き込み済み！



1 人工削減

※当社検証値による。

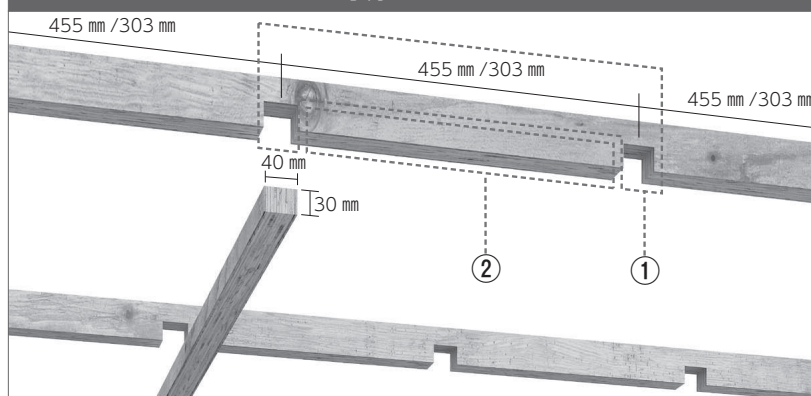
このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

一般的な天井野縁の施工では…



LVL 野縁システムでは



＼ここがポイント！／

- ①野縁受けは欠き込み済みなので 455 mm または 303 mm ピッチごとの墨出しの必要なし！
- ②欠き込みに野縁をはめこむので当て木を設けなくても石膏ボードのジョイント部分が覆われている。

＼LVL が最適！／ LVL は天井野縁に最適な材料です！！

品質のバラツキが小さく、強度が安定
LVLは、欠点を分散・除去した単板を1枚毎に強度を測り、貼りあわせたものです。積層数が増えるにつれて強度が安定し、構造信頼性が増します。

完全乾燥材なので、乾燥収縮が起こりにくい
LVLのJAS格規は、「含水率14%以下」。当社のLVL含水率は10%前後。施工後の乾燥収縮が起こりにくい。

反り、ねじれがほとんどない
構成単板が小さい(厚さ3~4.5mmの単板)ので、木材の欠点である反り、ねじれがほとんど起こりません。

1. 壁面ボードへの野縁取り付け

野縁を取り付ける方向の両端部に野縁を取り付けます。(※N釘75mm以上またはコーススレッドビス80mm以上推奨)



2. 野縁受けの取り付け(1)

野縁を取り付ける方向と直交に野縁受けを取り付けていきます。(※N釘75mm以上またはコーススレッドビス80mm以上推奨)



3. 野縁受けの取り付け(2)

野縁を取り付ける方向と直交にメーターピッチまたは910ピッチで野縁受けを取り付けます。将来のリフォームを見据えて天井下地を田の字で組む場合は、500ピッチまたは455ピッチで野縁受けを取り付けます。(※N釘50mm以上またはコーススレッドビス57mm以上を推奨)



4. 吊り木で固定

吊り木として野縁をカットし、しっかり梁と固定します。（※N釘50mm以上またはコーススレッドビス57mm以上を推奨）



5. 野縁本体の固定

野縁を野縁受けに固定します。（※N釘50mm以上またはコーススレッドビス57mm以上を推奨）



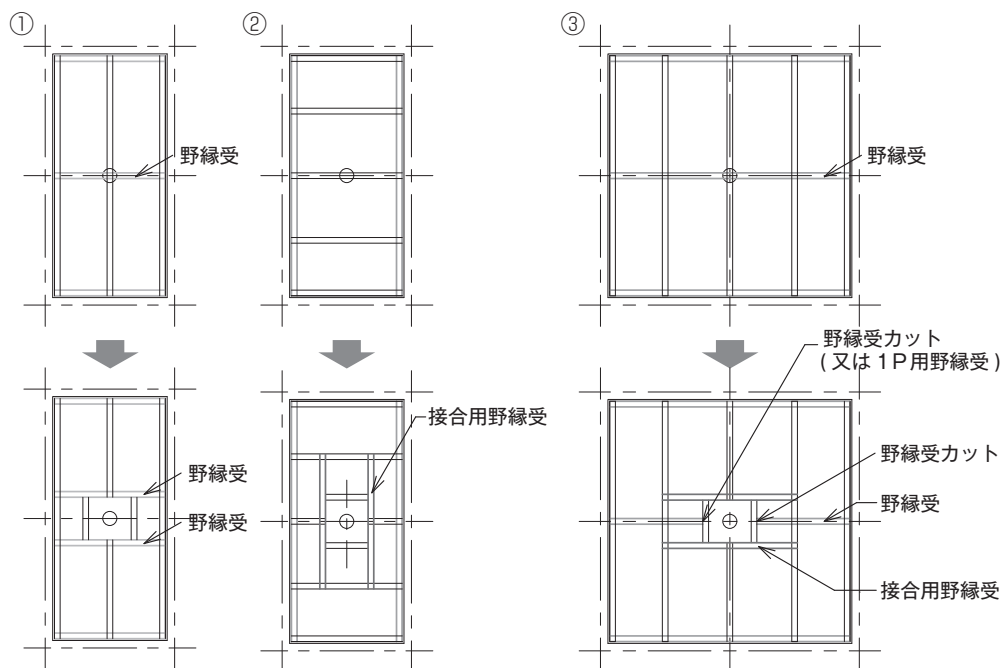
6. 天井プラスターボードの取り付け

最後にプラスターボードを取り付けて完成です。



■ダウンライトのかわし方

■910モジュール(野縁欠き込み:センター振り分け)455mmピッチの場合



■910モジュール(野縁欠き込み:センター振り分け)303mmピッチの場合

